

大洲市立喜多保育所

□ 【喜多保育所】について

大洲市立喜多保育所 住所:大洲市中村462-2

<仕事内容> 一日子供たちのお世話をする

<必要な免許> 保育士資格

□ 体験して学んだこと

「体験内容」

- ・子供たちと遊ぶ
- ・給食準備
- ・草むしり
- ・プール掃除
- ・ねかしつけ
- ・盆踊り練習

一週間、喜多保育所で実際に働いて**保育士の大変さをとても感じる**ことができた。私たちが出勤するときから退勤するときまで、子供たちのおむつ替えや掃除など職員さんはずっと働いていた。子供の命を預かっている責任の重さがあり、常に子供のことを考えていなければならない。けれど、喜多保育所の職員さんは、いつも笑顔で私たちや子供たちに接していて、**子供が大好きという気持ちがあふれていた**。そんな職員さんたちを見て、人のために働くこと、誰かのために働くことの大事さを改めて感じた。だから、これからもっと保育士のことを調べて、たくさんの人に信頼してもらえる保育士になれるよう頑張りたい。

□ 実際に子供と接してみte感じたこと

○個性が豊か

子供と接してみte、一番に性格の違い、つまり個性に驚いた。食べ方だけでなく話し方、行動のスピードなど、一人一人違いがあった。

○話すときの工夫

子供たちと話すときは、身長が違うので話しにくいなと感じた。だから、しゃがんで目と目が合うようにした。

□ 保育士を体験して楽しかったこと

第1位 子供たちと遊んだこと

やっぱり子供たちと遊んだことが楽しかった。遊ぶだけではなく、子供たち一人一人の性格も知ることができた。

第2位 和太鼓教室サッカー教室

和太鼓教室やサッカー教室では、私たちも楽しむことができた。

第3位 プール掃除

キリン組さんと協力してプールをピカピカにした。



□ 体験を終えて学んだこと・自分のこれからについて



職場体験学習を終えて気付いたことは、子供がかわいいという気持ちだけでは、保育士は務まらないということ。子供たちが寝ている間にも先生たちは折り紙を折ったりレポートを書いたりしていた。たしかに子供が好きという気持ちやかわいいという気持ちは大切だけれど、それ以上に「保育士」という仕事は、子供の命を預かっているという大変さがある。今回、保育士として働き、保育士という仕事についてもっと深く考えられるようになった。この職場体験学習で学んだことを生かして、たくさんのことに挑戦していきたい。